



光町民憲章

- 一、老人を敬い、子供を導き、楽しい家庭をつくりましょう。
- 一、体力づくりに励み、長生きの町をつくりましょう。
- 一、自然を愛し、美しい郷土を築きましょう。
- 一、教養を高め、互いに規律を守りましょう。
- 一、公共福祉を尊重し、明るい町をつくりましょう。

発行所 光町役場 電話 (04798) 4-1211(代)

春の全国交通安全運動 4月6日～15日



交通三悪の

ない町に

昭和五十年四月現在、一、六三八台—当町住民が保有している普通、小型乗用車の台数。人口が一、〇〇〇人余ですから、六、七人にひとり車を持っているといえます。

町内での交通事故は、昭和四十九年度と比べてみると、何んと九倍の増加です。月平均したら三件ほどの事故が起きています。

原因は運転者のスピードの出し過ぎ、前・後・側方の不注意が主で、県道、町道との交差点、見通しのよいところでの事故が大半を占めています。

ドライバーの皆さん、交通法規は必ず守って事故のない町づくりにしましょう。

写真は、車で出勤するパパを三輪車に乗り、安全運転でいってらっしゃいをする行方真澄ちゃん。

彰表農業町光

として業者農業



卓越した農業者として、大木信夫さん他三名の方に光町農業賞が贈られました。

なお、表彰式は二月十七日、公民館で行われ、四人の方がそれぞれの体験を発表しました。

大木信夫さん(二又二二七)

は水稻、養豚、露地野菜を主として経営し、地域の農業後継者グループのリーダーシップであります。また、継友会長として活躍されています。

〔大木信夫さんの体験発表〕

昭和四十一年に親子契約推進事業というのが、前椎名町長さんの力で、「嫁に行くなら光町、婿に行くなら光町」ということで発想され、十年目を迎えました。

農業を取り巻く情勢が、目まぐるしく変化する中で、産業課、農協、八日市場農業改良普及所の先生方のご指導を受けまして、私たちは農業経営に意欲を燃やしているものであります。

親子契約の推進事業の中に、小使い契約、月給契約、歩合契約、部間契約、譲渡契約の五つの種類があります。

親子契約も、両親が仕事を出来るうちは、契約を結んでも別に差し支えないと思いますが、両親がだんだん年をとってくるにつれて、また、私もある程度年をとってくる、一つの部間経営だけを一生懸命やっていくというわけには、どうしてもいえないと思います。

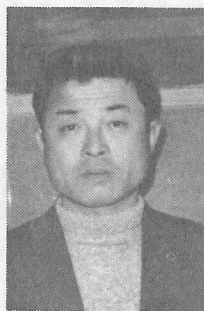
私も露地野菜と養豚の部間契約をしているんですけど、最近ではそればかりをやっていくわけにはい

—306—

かなくなって、一般経営というふうになってきています。

山崎文武さん(台一六二二)は水稻+養豚を主として経営し、台部落の高度集団栽培事業の設立及びリーダーであります。

また、農協園芸部南条支部長として活躍されています。



〔山崎文武さんの体験発表〕

私が養豚を始めたのは、昭和四十四年です。

当時、農協南条支所では、養豚推進方式というのを打ち出して、一〇〇頭から二〇〇頭くらい収容出来る豚舎を近代資金によって建て、私もその組合員に入りまして六十坪ほどの肉豚舎を建てました。現在までは、全農の肉用子豚生産団地による種豚導入事業で行いました種豚十頭と合わせて進んでいます。

で、養豚経営も今は、ちょっとばかり相場に助けられているような状態ですが、名前のとおりいつも豚々でございまして、自分の体が豚臭くなるのが、もうけくらのものです。

収支の方は別として、私が

養豚をやっている中で、一番考えていることを述べてみたいと思います。

ふん尿の処理の問題です。私が現在行っている処理方法は、山の中へ三畝くらいの穴を掘りましてそこへU字溝で結び、水で流し込むという方法をとっております。

が、稲作、野菜づくりにおいてわれわれが本当にほしいものは、有機質でございます。二、三年前から農業委員会などで土づくり運動を呼びかけているようですが、なかなか調子が出ないようござ

います。

また、谷中園芸組合設立発起人で、同組合長を勤め、青少年相談員として活躍されています。



〔平山和敏さんの体験発表〕

私は、二、三年農業をしているうちに水田には米をつくり、畑にはとにかくもつと商品価値のある野菜を上手に利用してつくったならいいじゃないかと思ひ、露地で手取り早く出来るネギ、ニンジン、トマトなど、いろいろ試作し

います。

そこで私は、隣の横芝町で国の補助事業などで作った大型ハウスの中でかくはんして乾燥させている処理方法を見たんですが、そのミニ版ともいえますが、その方式を取り入れていこうと思つて、整地をしまして、ハウスを建て、かくはん装置を入れて蒸散浸透方式という処理方法を作つて、二十%程度の水分を取り除き、それをハウスへ流し込んで乾燥させ、田畑へ還元する方法で行きたいと思っています。

てみました。しかし、技術や知識販売方法などがない私でしたのでいずれもたいした成果が上がりず失敗いたしました。

それからは参考書を読んだり、先進地を見学したり、あるいは講習会などに極力参加いたしましてわずかながらもだんだんと知識を得ていきました。

そして三十五年、近所の若い仲間と、「スイカをつくらせて皆さんで東京に出してみないか」と、話しを持ちかけた結果、早速翌年に⑤スイカ組合を結成しまして共選共販、共計を建前にしまして、春に一人当りだいたい八畝から一反歩くらいの面積で始まりました。その時の栽培用式は、パラフィン紙によるポットキャップ栽培の

〈次ページ上段へ〉

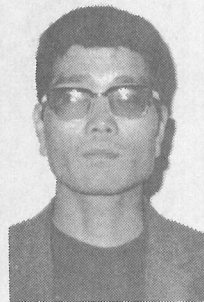
四人の方に

卓越した

た結果、ハニーバンタムをトンネルの一部に試みてみました。そして、なかなか良い結果が出ましたので、ことしからは、トンネル栽培は、スイカとハニーバンタムを取り入れたいと思います。また、後作としては、洋菜をつくろうかと考えております。そして、ハウスでの春作はスイカにして、一部はメロンにする考えです。

そして、これからはより一層品質のよいものをつくるため、施設とトンネルを上手に利用して、無限の力を持った限られた農地からばく大なエネルギーを持つ、自然の恵みを利用いたしまして、可能な限りの収益を引き出す努力を、私はいたしたいと考えております。

伊藤敬二さん（尾垂一九六〇）は、肥育牛、水稲、露地野菜を主として経営していますが、特に、肥育牛は、町内の多頭肥育牛の先駆者であります。



【伊藤敬二さんの体験発表】
肉牛生産についての体験と成果について発表したいと思います。
肉牛を始めたのは十年前です。



体験発表する平山和敏さん

ある日、寄せ刈りをやっているうち、刈り取った草の処分に困り、時間をかけていたのですが、その時、学生時代にわざわざ草を刈って牛に与えていることを思い出し牛を飼ってこの草を与えることを考えたのです。まさに一石二鳥という感じでした。

で、昭和四十一年六月に、二頭の牛を買ってきました。それから朝・晩に草刈り作業が私たちの日課でございました。しかし、努力のいかにもなく牛は思うように太ってくれなかったのです。やはり、濃厚飼料を与えなければだめなのかと思い、魚を売り、また冬には野菜をつくってそれらを売り歩き帰りはそのもうけで、エサを買ってきました。

そして、その二頭の牛が元で、昭和四十二年には四頭、四十三年には十頭の大台になりました。しかし、技術的なことにおきまして若干の欠陥はありましたが、八日市場農業改良普及所の先生方、あるいは自分なりに先進地へ出かけ勉強してまいりました。

こうして頭数は順調に増やしてまいりましたが、頭数が増えるにつれて問題点が多くなりました。

第一に泥沼対策でございます。牛の腹のつくほどの深さ、泥の中に寝た牛、泥の中から首だけを出している状態の牛など、どれをとっても牛がプラスになることは一

つありません。

その後、いろいろな方法でやってみまして、現在のように三五〇kgから四〇〇kgくらいまでの牛は中央に山をつけた運動場でそれにコンクリートの追い込み式牛舎を併用し、雨降り後は三、四日、運動場に出さないということです。更に四〇〇kg以上になった大型の牛は、床面がコンクリートでおがくず利用の運動場なしで、完全追い込み式牛舎に追い込んでしまうのです。

第二に、労力の問題です。妻との二人ではどうしても労力は足りません。例えば、水の問題でも水道の口からいちいち水をはっていたのでは、延べ時間で一日二時間半くらいはかかっておりましたが現在ではボールタップ方式で、この牛がどれだけ飲んでも一定の水量を保つように工夫いたしました。

第三に、大型機械によります稲わらの不足でございます。

牛は反すう動物でありますので絶対にそ飼料がなくてはならないものです。一頭仕上げるには最少限一反歩、一〇〇頭いけば十町歩稲わらが必要です。今までは秋前に手をまわして予約をとり、また牛ふんと交換し、どうやら確保出来るようになりました。

〔注〕この発表は広報室の方で一部要約し掲載したものです。

四チームが大会新でゴール

二十六チームが参加して

第九回町内駅伝大会

全身運動をすると血液の循環がよくなるということと、それにはマラソンが一番いいと、三十代、四十代の参加者も多く、二月八日第九回町内駅伝大会が行われました。

一般十九チーム、中学七チーム八日市場川島スポーツの特別参加と、ことは駅伝始まって以来の二十六チームで競われました。

一般、中学とも十八、四キロメートルで、一般は五区間、中学は六区間で行われました。

十時三十分、平山静雄審判長のピストルの合図で、一般、中学の第一走者が役場前を一斉にスタート。

この結果、一般は光町G Tクラブ、役場A、青年クラブ、中学は野球部Aの四チームが大会新でゴールしました。

成績は次のとおりです。

〔一般の部〕

▽優勝 光町G Tクラブ (53分23秒) ▽二位 役場A (53分31秒) ▽三位 青年クラブ (54分18秒)

〓以上大会新

〔中学の部〕

▽優勝 野球部A (53分26秒) ▽大会新▽二位 陸上A (54分53秒) ▽三位 野球部B (55分40秒)

〔一般の部区間賞〕

▽一区 (3・1 km) 林 輝、10分55秒 (G Tクラブ) ▽二区 (3・1 km) 布施広志、9分45秒 (G Tクラブ) ▽区間新▽三区 (4・1 km) 越川克男、14分24秒 (青年クラブ) ▽区間新▽四区 (1・7 km) 佐久間勝規、6分34秒 (役場A)

〓区間新▽五区 (2・8 km) 秋葉 精一、9分31秒 (青年クラブ) ▽区間新。

〔中学の部区間賞〕

▽一区 (3・1 km) 吉岡 剛、11分18秒 (野球部A) ▽二区 (3・1 km) 加瀬孝美智、10分48秒 (野



一位でゴールする越川輝男さん (G Tク)



市立習志野高教師の越川泰男さん (宮川四四二五―二番地)

越川さん平沼賞を受賞

日本陸上競技連盟から

は、マラソン選手として常に第一線で活躍し、千葉県陸上競技上競技連盟から平沼賞が贈られました。

の発展に努力された。

また、優秀な陸上競技者として、青少年の育成に尽力され、昭和五十年十月二十九日、三重

国体の開会式において、日本陸

南条A(小学)と光中B(中学)が優勝

第六回光町青少年剣道大会で

二月八日に光中学校体育館で、第六回光町青少年剣道大会が行われましたが、小学校の部で南条小Aチーム、中学校の部で光中B、高校の部で東総工が優勝を遂げました。

この大会は、海匠山武郡市の小・中学校、高校の剣道部員、愛好者たちが一同に集まる大会で、それぞれの部で日ごろのウデを競い合いました。

小学校の部では、銚子、旭、八日市場、野栄から十八チームが参

球部A) ▽区間新▽三区 (1・8 km) 依知川伸一、6分28秒 (野球部A) ▽区間新▽四区 (2・3 km) 川島俊彦、7分33秒 (野球部A)

〓区間新▽五区 (1・7 km) 宮本 幸義、6分48秒 (野球部B) ▽六区 (2・8 km) 鈴木寿男、10分21秒 (野球部A) ▽区間新。

加、南条小Aは一回戦シードのため、二回戦から試合を行い、銚子剣友会Aを5対0、準々決勝戦も大富小Aを5対0と、ともに一方的に破って準決勝へ進出。準決勝戦は銚子陸Aと接戦の3対2で破り、決勝戦は八日市場Aを2勝3引分けて破って優勝。中学校の部では、海上、飯岡で、八日市場、野栄、横芝、成東から十三チームが参加。光中Bは、一回戦で横芝中Bを4対1で破り二回戦へ進出。

二回戦は八日市場B、準決勝戦は飯岡中A、決勝戦は横芝中Aとともに2対2の苦しい引分けでありましたが、本数勝ちで優勝。高校の部では、多古、東総、匠

達、敬愛の五チームで行われましたが東総工が優勝。

小・中学校の個人成績の入賞は次のとおりです (当町関係のみ)

◎小学校の部

▽二位 須合康二 (南条小A)

◎中学校の部

▽四位 伊藤勝之 (光中A)

私の子豚生産の方法

入部落 林 寅次郎



古来から豚はあまり草を食わない動物といわれていましたが、種豚は雑草やくず野菜、くだものの皮などを十分食わせると、健康な種母体をつくり、しかも丈夫な子豚を数多く安産させるようです。

雑草や野菜を食わせることにより、いつも体内の血液がきれいになり、排せつ物も順調で、分べんされた子豚は健康でよくそろって元気よく、その上飼料代もおどろくほど少なくて済みますので、生産者にとっては一石二鳥で有利です。

子豚から飼育するとは思いつた処置が必要です。まず種小豚を一室に二頭づつ入れて飼育するのが最もよく、初めのうちは新しい雑草、野菜を一頭当たり一日に四キロ位を、四、五回にわけて食べさせます。体重が四十キロ位になれば雑草、野菜も二十キロ位はよく食べます。

また青菜の少ない十二月、一月

二月のためには、青菜がわりに甘しょを植付けておきますが、種豚一頭に三アールは必要です。掘取った甘しょは飼料、また貯蔵しておきます。つるは生のまま食わせませんが、一部は乾燥させて貯蔵しておき、必要ときに五センチほどに切つて、親豚小豚に食わせます。

親子ともよく食べ、そうするこ

とにより、冬の小豚とりでも青菜はあまり心配はありません。

子豚はなかなか雑草には食いついてきませんが、少しの間は、ために雑草やくだもの皮、野菜を食わせているうちに、二頭がきそつて食べるようになります。そのころともなれば濃厚飼料も半分以下とし、朝夕二回だけ与え、昼は雑草やくず野菜を食わせます。

このようにして飼育した種豚は肉つきはあまりよくありませんが種豚としては最もよいと思います。同居して飼育しておいた豚は、十か月を過ぎるころから一頭づつ

道路ぞいにへいや建物の

着工は建設課へ



道路を通っているとき、頭を赤くぬつたコンクリートの柱を見かけることがあります。

この柱は、道路などの公共用地と民地の境いをはつきりさせるもので、境界柱といっています。

皆さんが道路ぞいにへいや建物を建てる時、この境界がはつきりしていないため、道路の用地の

なかにへいや建物をつくつてしまふ例が見受けられ、このような場合は不法な占用となります。

これからへいや建物を道路ぞいに建てられる方は、役場建設課に相談のうえ、将来争いの生じないよう境界を明らかにしてから着工されるようお願いします。

にします。

とくに申し述べたいことは、子豚から完全な種豚とするには、生後十一か月は絶対必要です。

またその位の期間がなければ完全な体力もできず、何回も分べんできないと思います。少しでもからだに異常があれば安産はできません。

今や農村の現況はいたるところ雑草が繁茂して、農道せましとはびこっています。

この雑草を刈り取つて豚に食わせるくらいは努力が必要で、生産者にとっては、豚に対する愛着心

が最も大切なことではないでしょうか。

豚を可愛がり、何回もそばについて子豚を生ませることにより、種豚も飼主になれて、安心してら

くらくと子豚を分べんします。私たちひとりひとりが日常の生活をとおして物を捨てず、野菜、くだものくすまで豚に食わせて利用することが大切ではないでしょうか、それがまた優良な子豚の多産ということになって、生産者にかえってくるのです。

(文は、「農業千葉」に掲載されていたものから転載しました。)

一般作物は四万円の奨励金

水田総合利用対策で

米の生産と消費の均衡を保つため、昭和四十六年四月から五カ年計画で始められた稲作転換対策は昭和五十一年三月で終ることにな

ります。しかし、米の需給事情は、なお過剰基調にあり、また、米以外の食糧農産物で増産の必要にせまられてい

るものがあります。このようなことから引き続き、昭和五十一年四月から三カ年間で「水田総合利用対策」ということで転作の奨励を行うことになりました。

新しく行われる「水田総合利用対策」では、転作奨励補助金の交付対象作物が、今までとは変わります。

養魚地、及び農業生産施設、果樹の大部分などについては奨励補助金は交付されません。また、一般作物についても奨励補助金が交付されないものがあります。

転作する場合は、役場産業課、農協指導課、あるいは八日市場農業改良普及所へご相談ください。なお、転作奨励金額の例をあげますと次のとおりです。

▽一般奨励作物(野菜など)十アール当り 四〇、〇〇〇円

▽集団で大豆を作付した場合 十アール当り 五〇、〇〇〇円

本職顔負けの作品に感嘆

老人クラブ作品展開く

二、〇〇〇円のうけ、二足で一五〇円のわらざうりなど、格安の品物が五十点。
ただし、いずれも手作りの品。
これらの品物は、おとしよりたちが日常、趣味づくりとして提出した作品です。
どれも細かく、ていねいに手が行き届いていて、玄人顔負けの出来ばえでした。
二月二十七日から二十九日まで



買い手が殺到した手作り品

慶弔関係

(敬称略)

〈おめでとつございます〉

一月五日、一月三十一日受付
◎お幸せにー結婚
〈部落〉 〈氏名〉

氏名	担当区域
秋山靖枝	篠本1、2区
杉山まさ	篠本3区、新井
布施よし	宝米、二又
野村米子	芝崎、母子
林とく	小田部、台、小川台
古川昭子	傍示戸、富下、虫生
萩田良子	作間内、宮内
石川静枝	古屋、桑郷、西高野
林田照子	橋場
越川つね	入、谷中
竹内きみ子	篠原、原方
椎名ナツエ	辻、木戸
伊橋野江	長塚、五ノ神
伊藤クニ	尾垂5、6区
鈴木美登	白磯、関

母子保健推進員決まる

母子保健推進員の皆さんは、妊婦届のすすめや、検診のすすめなど、すべての母と子にいろいろなアドバイスや、良き相談相手となる

り、また、保健婦と皆さんの間のパイプ役となっていたいただくことがたです。
お気軽にご相談下さい。

(篠本)	平山昭男ー平山久子	(小田部)	布施宏之 長男 和之
(橋場)	林 正明ー林 初江	(小田部)	佐久間俊雄 長男 辰也
◎お健やかにーお誕生		(宮内)	鈴木光雄 長女めぐみ
(部落、父親、続柄、赤ちゃん)		(辻)	実川 通 長女 和代
(橋場)	椎名幸八 長男 富夫	(作間内)	鈴木俊雄 長男 大雄
(木戸)	大木勝己 長男 健史	(作間内)	伊藤康雄 長男 和裕
(母子)	越川雅彦 長女 真季	(白磯)	森田安信 二女 葉子
(木戸)	大木岩男 長男 明夫	(小田部)	秀島 潤 二女 幸江
(篠本)	青柳 壮 二男 昌之	(おくやみ)	
(谷中)	越川正一 長女真由美	申し上げます (敬称略)	
(宮内)	鈴木輝行 長男 輝成	(部落、氏名、性別、年齢)	
(古屋)	伊藤行雄 長男 勇	(関)	椎名虎松 男 73歳
(芝崎)	関 将 長男多加志	(橋場)	越川徳治 男 73歳
(宝米)	小川良雄 長男 秀明	(篠本)	林 晟 男 72歳

町の状況

〈3月1日現在〉

人口	男	5,756 (0)
	女	5,937 (- 6)
	計	11,693 (- 6)
世帯		2,771 (+ 3)
		() 内は前月比

お詫びと訂正

広報二月号、三、四、五面の二十歳の抱負の中で、江波戸伸治さんと平野和夫さんの顔写真が違っていましたのでお詫びいたします。
また、一面の全国火災予防運動二月二十九日から三月十日までは三月十三日の間違いでしたので訂正いたします。

(母子)	小川ナヲ 女 82歳	(篠本)	行方きみ代 女 43歳	(関)	秋葉尚一郎 男 28歳	(谷中)	越川勝躬 男 81歳	(古屋)	鈴木義雄 男 79歳	(西高野)	古橋さく 女 71歳	(小田部)	鈴木行治 男 65歳	(作間内)	向後一良 男 76歳	(白磯)	川野喜一 男 71歳	(篠原)	越川貞司 男 74歳	(宝米)	土屋友亨 男 61歳	(長塚)	海保純子 女 5歳	(白磯)	滝野たか 女 94歳
------	------------	------	-------------	-----	-------------	------	------------	------	------------	-------	------------	-------	------------	-------	------------	------	------------	------	------------	------	------------	------	-----------	------	------------